

第3回 経営協議会 記録

- I 日 時 平成24年 6月25日(水) 13時30分～15時35分
II 場 所 事務局棟5階特別会議室
III 出席者 高田学長(議長)
石堂, 郷, 茂原, 曾我, 林, 福水, 四方, 石川, 平塚, 井手, 野島,
竹内の各委員
陪席者 鈴木監事, 森田監事
欠席者 高橋委員

議事に先立ち、経営協議会の成立要件が満たされていることが確認された後、学長から、第1回及び第2回の書面審議開催に対し謝辞があり、引き続き、平成24年度役員等の紹介及び前3回の議事概要の確認が行われた。

IV 議事概要

1 審議事項

(1) 平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について、資料により説明があり、原案どおり承認された。

(2) 平成23事業年度に係る決算について

平成23事業年度決算(案)について資料により説明があり、引き続き監事から監査結果報告があり、原案どおり承認された。

なお、審議の際、次のような意見交換が行われた。(○は学外委員、△は本学の発言。以下同じ。)

○：平成23事業年度の事業計画は順調に遂行されたものと判断できるのか。

△：重粒子線治療を含む附属病院収入が当期総利益全体に大きく反映されていると考えており、順調な事業遂行ができたかと判断している。

(3) 平成25年度概算要求について

平成25年度概算要求(案)について、資料により説明があり、原案どおり承認され、要求に係る順位付けについては学長に一任された。

なお、審議の際、次のような意見交換が行われた。

○：地域と連携した人材育成の交流事業は有意義なものと判断できる。

○：工学部・工学研究科の組織改組は、従来細分化された組織を統合させたことで、産学連携のさらなる推進など、産業界からの期待も大きい。

△：教育組織の充実の他、産学連携、知的財産及び共同研究等の充実によりワンストップサービスに心がけるなど、産業界との連携強化に努めたい。

(4) 学長適任候補者の推薦について

国立大学法人群馬大学学長選考会議議長から国立大学法人群馬大学経営協議会議長あて依頼のあった学長適任候補者の推薦について、資料により説明があり、学長適任候補者の推薦方法、スケジュール及び事務手続きの事務局

への委嘱について承認された。

2 報告事項

(1) 就業規則等の一部改正について

書面審議で承認された国家公務員の給与の改定及び臨時特例に伴う本学の給与規則等の対応について資料により説明があり、また、関連して学外委員手当についても、国の特例期間中に限り減額の取扱いとする旨の説明があった。

(2) 平成24年度入学者選抜実施状況及び平成23年度卒業者等の進路状況について

平成24年度入学者選抜実施状況及び平成23年度卒業者等の進路状況(5月1日現在)について、資料により説明があった。

(3) 平成24事業年度会計監査人について

平成24事業年度会計監査人として、新日本有限責任監査法人が文部科学大臣により選任された旨の報告があった。

(4) 平成24年度群馬大学節電計画について

平成24年度節電計画について、資料により説明があり、教育研究等に支障のない範囲でメリハリをつけた節電に取り組む旨の説明があった。

(5) その他

① 国立大学協会総会及び国立大学法人学長・大学共同利用機関法人機構長等会議について

文部科学省が策定した大学改革実行プランについて、資料により説明があった。また、今後、関係機関から情報収集をしつつ、本学のミッションの再定義など国立大学改革の検討を行っていく旨の説明があった。

② 「群大重粒子倶楽部」の発刊について

本学の重粒子線治療に関係するこれまでのデータを集計するとともに、重粒子線治療に関するトピックス等を紹介する「群大重粒子倶楽部」(ニューズレター)を発刊したことについて報告があった。

以 上